

第一席

イナカプレス

愛知県立成章高等学校

今年のイナカプレスは三年生四人、二年生二人、一年生五人で仕上げました。今年のテーマ「春夏秋冬」に合わせて、季節感のある作品になったかと思えます。

昨年の秋から制作を進め、約一年をかけて作りしました。特に四月に入学したばかりの一年生は、初めて小説を書く子もいる中、複数の作品を仕上げてくださいました。そして部員たちで、何度も批評会を重ねて丁寧に作り上げました。

これからも部員全員でよい作品を書けるよう頑張っていきたいと思いません。
(二年 橋本 奈華)



第二席

『文學帖』 第十号

私立名古屋高等学校

文芸部誌『文學帖』、第十号。昨年、信州総文祭に出品したこの『文學帖』は、第九号の反省点や改善点を踏まえ、より良いものが出来たと思えます。散文だけでなく、俳句・古典研究と多岐に渡る企画が盛り込まれているところが我々の部誌のポイントです。古典企画は俳諧連歌、都々逸などの古典文学に焦点をあてました。今回の特集の目玉は「俳句激論三本勝負」です。俳句のポイントの中でも「実景と虚景」に焦点をあて、俳人の先生方のお話を伺い、実際に我々男子校と、女子校の方々と互いの学校についてイメージする句を作り批評しました。毎年恒例のテーマ小説のテーマは「ストップモーション・アニメーション」。また、今回の部誌ではテーマ小説だけではなく、企画小説として普段の活動で執筆した小説も載せております。

第九号よりもまた違った雰囲気第十号。是非とも私たち名古屋高校の部誌を手にとってみてください。

(二年 中山 皓介)



こんぺいとう 第十一号

愛知県立常滑高等学校

私たち常滑高校文芸部は、毎週月曜日、水曜日、金曜日の週三日間、主に小説、詩、短歌、俳句、川柳などの創作活動を行っています。今年は、個性的な部員がたくさん増え部活動がにぎやかになりました。文芸部の活動として新たに漢文講座を開いたり、新美南吉記念館を訪問し、学芸員の方からお話しを聞かせていただいたりしました。また、例年通り、高文連主催のアートフェスタ、講師の先生による短歌の講習会に参加しました。今回の部誌は「日常」というテーマになり、童話、リレー小説を新企画として活動しました。今回は作品の創作に集中しすぎて、編集作業が遅くなってしまいました。三年の先輩、さらには卒業生の先輩にもアドバイスをしていただいたおかげで、今までにない個性のある冊子ができました。今回は、それぞれの個性が出せる作品集にすることを手がけました。も



もちろん、前回の失敗から学んだことも取り入れながら、部誌を完成させることができました。ぜひ、楽しんでください。
(二年 石井 叶途)

ユニコーン

愛知県立安城高等学校

ユニコーンは、私たち安城高校の文芸誌です。創刊は、一九八六年（昭和六十一年）で、今年で三十二年を迎えます。年六回の発行で、文化祭の時には、創刊号から全てのユニコーンを展示し、卒業生の先輩たちにもみてもらっています。

日頃は、小説・詩・短歌・俳句・イラストと自分の好きな分野で挑戦していますが、今年の文化祭号（一七五号）は、部活で句会をやっていた、その結果をまとめました。

文化祭では、部員の作ったラミネートカードを展示し、見に来てくださった人にも実際にラミネートカードを作ってもらっています。



(二年 鳥居 大暉)

Pinnacle

愛知県立一宮高等学校

私達一宮高校文芸部は、昭和から今に至るまで続く伝統ある部活です。年に二回の部誌の発行を目指し、小説や短歌、俳句にイラストの制作をしています。

この部誌を発行した当初、部員は五名だったのですが、現在は倍近く増え八名という超大所帯の部活になっています。作品の色も部員の数だけ増え、今まで以上にカラフルな部誌になっていくだろうと期待に胸を膨らませていきます。

これからもなお一層創作活動に励み、学校中に一宮高校文芸部の名を轟かせたいと思います。
(二年 高桑 一彰)



花鳥風月

愛知県立一宮南高等学校

一宮南高校文芸部誌「花鳥風月」も、今回で五号を迎えることができました。新しく入部した仲間たちとともに思い思いに小説を執筆しています。今号のものは、一年生の作品がたくさん入ったフレッシュなものになっています。

「花鳥風月」とは、自然界の美しいもの、またそれを楽しむ風流の遊びのことをいい、そんなタイトルにふさわしいものができるよう、日々のんびりと活動しています。
(一年 九日 若菜)



胡蝶の夢

愛知県立岡崎東高等学校

私たちは愛知県立岡崎東高等学校文芸部は、週に二回、俳句・短歌・小説・イラスト等の創作活動を行っています。

また、年に二回、二学期と三学期に文芸部誌を発行しています。二学期の部誌は文化祭に配布します。部誌に載せた作品に統一のテーマはありません。各自がその時一番書きたかったもの、一番表現したかったものを時間が許す限り推敲して、部員全員が力を合わせて完成させていきます。

二年生五人、一年生二人と小規模な部ですが、これからも変わらず、自由活動していきます。

(二年 佐野ひより)



雅人―涼風の青鷺―

愛知県立蒲郡高等学校

私達は総勢十四人と少人数で活動しています。今年度、「同好会」から「部」に昇格しました。年三回夏・秋・春に発行する部誌「雅人」のサブタイトルと毎号のテーマは、部員全員で話し合っていて決めています。今号は夏らしく、ファンタジーとホラーで、さらに「向日葵・陽炎・風鈴」のモチーフを全員作品のどこかに用いています。楽しんでいただけたら幸いです。

よりよい作品を創作するため、日々切磋琢磨していきたいと考えています。

(一年 鈴木 多映)

平出このみ

森下 愛菜



卵と雛の突然変異

愛知県立国府高等学校

国府高校文芸部では、秋に文化祭で販売し、春に三年生の先輩に贈る部誌『卵と雛の突然変異』を発行しています。

個性豊かな部員たちによる様々なジャンルの作品が掲載された部誌には、製作時の気持ちがいもついています。誤字・脱字のチェックや印刷と、自分たちの手で一から作り上げるのは大変ではありますが、やりがいを感じさせるものもあります。

また、創作活動というのはいきおい個人プレイになりがちですが、普段の活動ではもちろんのこと、文化祭の販売に際しては「出店」のディスプレイにみんなで知恵を絞ったり、果ては「行商」にまで乗り出したりと、みんなでわいわいと部活動だからこそできることも大切にしてきました。

先輩方の思いを刻んできた『卵と雛の突然変異』を、受け継ぎ進化させ伝えていく、それを根底に据え努力を（楽しく）続けていきます。

（二年 田中 優衣）



文芸幸田

愛知県立幸田高等学校

こんにちは。幸せの田んぼ、幸田高校です。私たちは週に四日、俳句を中心に小説・詩・短歌など様々な活動を行っています。今年は男子部員が増え、部の雰囲気が変わりましたが、男女の壁なく仲良く日々の創作に励んでいます。

また、八月に行われた俳句甲子園では、幸田高校史上初の敗者復活戦に名前が上がり、奨励賞を頂くことができました。

今年の部誌は「果物」をテーマに制作し、部員紹介や旅の日記など前回の部誌になかった内容も加わっています。まだまだ未熟者の部誌ですが、より良いものを制作できるように日々の部活で試行錯誤しています。

（二年 大橋 愛香）

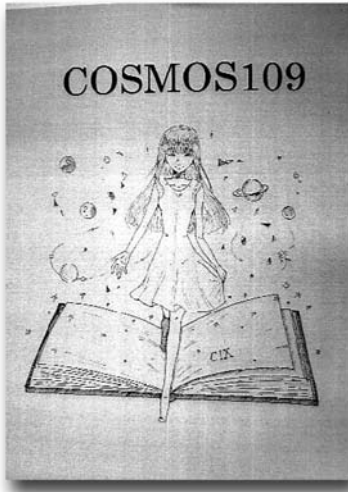


COSMOS

愛知県立時習館高等学校

私たちの部誌「COSMOS109」は、小説、イラストはもちろん、短歌や詩、漫画も掲載されています。小説には、コミカルなものからシリアスなもの、イラストには、繊細なものからポップなちびキャラまで、様々なものがあります。他にも日頃思っていることを綴った心温まる詩や、修学旅行での思い出を詠んだ短歌、自分のイラストの説明を面白おかしく描いた漫画など、ページをめくっただけで、にぎやかで個性豊かな部員たちの作品が100P以上にわたって並んでいます。

(二年 山口 真来)



HEAVEN'S WHITE Vol.42

愛知県立天白高等学校

天白高校文芸部は、水曜日を除いた授業後に活動しています。部員は一年生六人、二年生十三人。小説やイラストに限らない様々な製作活動をしています。

主な活動は、決めたとお題に沿って作品を作り評価し合う「講評会」と、年に二回、夏と冬に部誌を発行する事です。

今年も、一枚の写真からストーリーを連想して、それを発表し合ったり、明治村に行って文豪たちゆかりの物やその建物からインスピレーションを得て作品を作ったり、自分の好きなものをプレゼンしたり、演劇の台本を作ったりと、これまで以上に幅広く色々な新しいことにチャレンジしています。また、制限時間付きで創作する、自分たちでクイズを考え出し合うなど時間があったら、創作力を高めるような活動をしています。

これからも楽しく活動しつつ、活気のある部活になるよう頑張っています。 (二年 中村ましろ)



ワールド

愛知県立豊田東高等学校

私たち文芸・イラスト部は、現在一年生十人と二年生八人、計十八人で活動しています。日頃の活動では、部員がそれぞれ考えたお題をくじにしてその日引き当てたお題にそってイラストや小説を描いています。テーマがあることで、普段では選ばないジャンルのイラストや小説を描くことができ、様々な経験をしています。

私たちの部活の主な行事は、文化祭での部誌などの販売と3月に開催する文化部総合フェスティバルの作品展示です。文化祭では、部誌、イラストボード、ラミネートカードとポストカードなどを販売しています。一方、文化部総合フェスティバルでは、全員で意見を出し合い、その年のテーマを決め、それに基づいた作品を全員で制作し、豊田市民文化ホールの展示室で展示しています。



今回の部誌は、「ワールド」というテーマで、それぞれの部員が、自分の世界観を表現しています。一人ひとりの個性あふれた作品集になっていますので、是非お手にとってお楽しみください。

(二年 加藤 柚乃)

百花繚乱

愛知県立豊田南高等学校

私たち豊田南高校文芸部は、現在一年生十六人、二年生六人の計二十二名で水曜日・金曜日の週二回活動しています。部誌は、入学歓迎号、文化祭号、体験入学号、個人創作披露号の年四回発行しています。

製本作業は全て部員一同行作業でおこなっているので、完成したとき達成感と部誌に対する愛着が生まれます。

部誌には、小説・イラスト・四コマ漫画・一般的な漫画などが載せられていて、それぞれの得意分野で、個性を發揮した作品を創り出しています。

これからも多くの人に読んでいただける部誌を目指していきたいと考えています。

(二年 石川 綾乃)



Away

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

また、年に二回文芸部誌「Away」を発行しています。文化祭で発行する本誌は、生徒及び一般の方々に販売しています。普段の活動で詠んだ俳句や短歌、部員が趣味で書いている小説を掲載しています。今回は、写真部とのコラボ企画や、地元である豊橋市の方言、豊橋市の奇祭「鬼祭り」についても掲載し、西高校や豊橋市に対する愛情を更に深められる一冊となっています。

(二年 柴田 莉穂)



Flower's Different World

愛知県立豊橋東高等学校

私たち豊橋東高校文学部は、年に自己紹介冊子、文化祭冊子、春冊子の三部を発行します。文化祭冊子と春冊子では、予め部員で話し合っておいたお題に沿って創作活動を行います。今年の文化祭冊子では「花」と「異世界」をお題として冊子制作をし、締め切りを守るべく、部員全員が真剣に制作に取り組みました。冊子は小説やイラスト等によって構成されており、いずれの作品にもそれぞれの個性が表れています。文化祭では予想していたよりも多くの方に部誌を手にとって頂いたのでとても有り難く思っています。

活動日は週二日で、今年は一年生が多く入部したこともあり、多くの人と意見交換をして互いに切磋琢磨して執筆活動に励んでいます。

大変なこともあります。全員で協力しながら日々努力し、より多くの人に楽しんで頂けるような部誌を作っていこうと思います。

(一年 中尾圭一朗)



黎明

私立南山高等学校女子部

私たち南山高校女子部文芸部は春と秋の二回、部誌を発行しています。春部誌では毎年テーマを決めて小説を書き、前年度は「食べる」をテーマに、各役員に担当の味を割り当てて執筆しました。また秋部誌にはうつけもの・黎明の二種類があり、古くから続いている黎明はやや格式張った、比較的新しいうつけものは黎明よりも自由な作風となっています。今年の秋部誌は長年の念願が叶い、業者さんに製本作業を委託し例年以上の仕上がりとなりました。

部活動は毎週火曜日と木曜日、中高合同で行っています。ランダムに選んだ三つの言葉や小説に取り込む三題指定、タイトルを交換し、それに沿った話を書くタイトル交換や情景描写の訓練など、毎回様々な方面から文章力の向上を図り、毎回欠かさず部員同士で批評を行い切磋琢磨しています。決して多いとは言えない部員数ですが、その分縦の繋がりが強く、全体の仲が良い部活です。

(二年 日比野光夏)



徒然・篝火

愛知県立西尾高等学校

毎年、新入生歓迎号・体験入学号・文化祭号・文化部発表号の四冊を発行しています。

徒然は漫画、篝火は小説です。今年はイラストの投稿も多く、充実しています。文化部発表号に、毎週の活動日に行っている、「お題」に基づき部員みんなで作った合同作品を掲載する予定です。それぞれの個性が響き合うものができそうです。

皆さん楽しんでいただける部誌をつくりあげられるよう、これからも部員一同、精進していきます。

(二年 御領 菜月)

